



# 福島南ロータリークラブ

基本方針:ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を

事務局/〒960-8151 福島市太平寺字通吹 6-2 ザ・36・メイファイブ 1F2号室  
tel. 024-546-3793 fax. 024-545-7878  
例会場/サンパレス福島 〒960-8101 福島市上町 4-30  
tel. 024-523-3811(代) fax. 024-523-0375  
HP アドレス <http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html>



- 会長：大野順道 ■幹事：金子親房
- 会報委員長：丹治洋子 ■副委員長：佐藤朋也
- 委員：中央清和 菅野良二 吉田仁一 渡辺勇

## 第29回例会

平成 25 年 2 月 12 日 (水) サンパレス福島

■会員/73名 ■出席/43名 ■出席率/58.90% ■メイクアップ/30名 ■修正/73名 ■修正率/100%

### 本日のプログラム

- 1 開会点鐘
- 2 来訪者紹介と会長挨拶
- 3 米山奨学生奨学金授与
- 4 スマイリング報告
- 5 ゲストスピーチ世界あれこれ
- 6 各委員会報告
- 7 閉会点鐘

### 会員の広場

26. 2. 17 福島民報

福島市の 4 号国道沿いにあるガソリンスタンドには燃料を補給する県外ナンバーの車が相次いだ。大雪による渋滞で、15 日に到着を予定していた燃料が配送されていない。従業員は「震災直後を思い出した。在庫が残り少なく、17 日は店を開けられるかどうかすらわからない」と表情を曇らせた。県内の宅配業者は、交通網の寸断に加え、大雪で配達に困難なことから、一部店舗で宅配便の受付を休止するなどした。

この度の大雪で 23. 3. 11 以来の物流のない状態が続きました。そんな中でも福島南ロータリークラブの仲間はお互い助け合っこの場を乗り切りました。今後も何かあっても連帯力で乗り切りたいと思います。

### 今日の一面記事

世界では貧困や紛争のために命の危険にさらされている子供達がたくさんいます。学校に通えない子供達 6 1 0 0 万人、防げる病気で亡くなる 5 歳未満の子供達 1 6 6 0 万人、そのような困難な状況の中で生きる子供達が教育を受け健やかに成長することが出来るよう私達は支援活動を進めていかなければならないと思います。

## ◆会長あいさつ◆ 大野 順道 会長



皆さん、こんにちは。立春から寒さがつのり、44センチも雪が積もり、電車運行に支障を来したり、高速道路で多くの事故がおこりました。未だに、雪が多く残っている状態です。春なのに、春が待ち遠しいですね。「早春賦」には「春は名のみ 風の寒さや…… 春と聞かねば知らでありしを 聞けば急がる 胸の思いをいかにせよとの 頃か」とあります。昨日と今日は黒岩虚空蔵菩薩の例大祭でしたので、先程お参りをして参りました。旧暦の1月12日が宵祭り、13日が本祭りです。虚空蔵菩薩は13番目の仏様で、また、丑年と寅年生まれを守り本尊ということでした。ところで、ソチ冬季オリンピックが始まりました。残念ながら、高梨沙羅さんは、4位となりましたが、スノーボードの男子ハーフパイプで15歳の平野歩夢君が銀メダル、18歳の平岡卓君が銅メダルを獲得しました。平野君のメダル獲得は冬季五輪史上、日本選手で最年少、スノーボードでのメダルも初という快挙です。今後の日本選手の活躍に期

待したいと思います。今月は世界理解月間ですので、食事の後のスピーチは、地区国際奉仕委員会 齋藤浩委員長にお願い致しました。どうぞ宜しくお願い致します。

## ◆米山奨学生奨学金授与◆ 奨学生 江 沛勲 君



今日も大野順道会長より奨学生の 江 沛勲くんへ奨学金が手渡されました。あと2か月頑張ってください。

## ◆ゲストスピーチ世界あれこれ◆ 地区国際奉仕委員会 齋藤 浩 委員長



皆さん、こんにちは。本日は地区の国際奉仕委員長を仰せつかっているということで、スピーチの機会を与えて頂きましたこと感謝申し上げます。国際奉仕とは何ぞやという

様な釈迦に説法するつもりは毛頭ございません。

言わずもがな国際奉仕委員会は自国内での奉仕活動よりは他国のロータリアン、ロータリークラブ、地区、場合によっては国家とも交流を持ってロータリーの最終目的である世界平和達成に奉仕しようと言うことになっております。

その途轍もない目標達成には何といても国際奉仕委員会の絶大なる努力が必要欠くべからざるものでしょう。しかし世界を見渡すと1ロータリアンなどがどんなにもがいてもどうにもならないことが多すぎるそれが現状でしょう。しかし個人の些細な善意であっても、世界にいる130万人の仲間が同時に立ち上がれば、それは大きな力となることでしょう。

今回で3回目となりましたリスボンでの国際大会では、見知らぬロータリアンでも指を重ねて挨拶を交わしておりました。

R I ではポリオプラスを最優先課題と言った当初から、努力することで限りなくゼロに近づくことは可能だろうが、撲滅はあり得るものだろうか疑心暗鬼でございました。しかし完遂される日の到来を心待ちにしていることに変わりはありません。

これとこれは国際奉仕だ、という様なことではなく、海外に出かけて直に外国人とコンタクトをとってスキニップをもつことが大切です。海外に行かれない人は来日した外国人と交流する。そうすることで互いに共通理解を持つこととなり友好、親善、親睦、相互理解が育まれ、それまで漂っていたわだかまりが払拭されて、短絡的ではありますが国際親善、世界平和に直結することになるのではないだろうか。ご家庭の事情その他で海外にも行かれない、また来日した外国人とのスキニップも取れないという方は経験者の話に耳を傾けるだけでも、やがては国際奉仕の一端を担うことになるのではないのでしょうか。しかし、その後も国際奉仕関係には全く無関心であるとなれば国際ロータリーの1会員としてではなく一員として如何なものでしょうか。

私の人生の半分は、すなわち38年間はロータリーに在籍しております。当クラブで最も若い伊藤紘一さんの誕生日と私のロータリー誕生日とは相前後しております。よくもまあ飽きずに今日までロータリアンとして生き長らえたものと思いますが、これひとえに皆様方の温情に支えられたものと感謝しております。

高校では日本史ではなく、世界史を選択したのも今考えると国際奉仕、国際理解といったものに引き寄せられていたのかもしれない。大学では専門分野は当然ですが、英語、ドイツ語、そして世界共通と言われるエスペラント語も学んだが、今ではすっかり忘れてしまった。このような外国語を学んだ会員も少なくないとは思いますが、このような環境に何故引き寄せられたのかは運命的なもので、その因果関係を解明することは出来ない。これらもやがて遭遇するロータリーの国際奉仕、国際交流に直結することになるろうとは妙な感じがする。流れに棹さすこともなく流されるまま漂い始めた頃、ロータリーに

誘われた。何度もお断りしたのですが、長谷川看板店社長さん、内科医の小田島先生の熱心な勧誘に負けてしまった。南クラブ創立数年後のことだったので、当時は未だ一人の退会者もなく、今では他界された会員も含めて南クラブの全会員とスキニップを持てたことは私にとって大きな財産です。

今年度に残されている地区国際奉仕委員会の事業の一つは3地区合同青少年交換スプリングキャンプである。これは山形、宮城、福島の3地区合同で開催されるが、今年度は当番地区として3月の春休みに猪苗代で開催される。海外に派遣される各地区の高校生に対してのオリエンテーションだ。

もう一つはR I J Y E C と称して国際ロータリー全日本青少年交換研究会の当番地区としてこれも5月に猪苗代で開催される。メインテーマは青少年が安心、安全に交換事業に参加出来る様研究されることだが全国から交換学生、ROTEX、その他300名程の国際奉仕関係者が集まり、全世界規模で保険、医療の統一化が促進されるよう検討なされることになっている。

今年度に入って発生した事例としてはオーストリアから被災地に住む大学生を招待したいという話があった。検討の結果、私は大学生の危機管理ということで学生達に同行した。オーストリアは北海道ぐらいの面積で海に面する所もなく、周囲6カ国に囲まれている。(チェコ、スロバキア、ポーランド、セルビア、ルーマニア、モルドバ)

ある時、首都WienにあるHietzing RCをメールキャンプする機会があった。帝国ホテルが例会場なのだが、当日は一部工事中ということで歩道とホテルの間のスペースの青天井で例会が開かれた。当日は日本と同じような暑さのせいしか会長だけがネクタイ着用だった。食事は各自好きなものを注文して夫々の食事代を各自がその場で支払う方式だった。ただそこに参加する女性会員は参加者全員にキスの挨拶をして回っていた。俺のところに戻ってきたらどうしようかと緊張したが、何事もなく経過してしまっ。その時ふと日本のこと、南クラブのことを思い出したが、こんな習慣を皆さんはどうお考えでしょうか。70人もキスしまくったら、ほっぺたも唇もどんなことになるのか想像もできませんでした。

## 今月・来月のプログラム

- 2月 26日(水)ゲストスピーチ  
(財)ロータリー米山記念奨学会評議員 佐原 元氏
- 3月 5日(水)会員スピーチ・「ロータリーの友」  
読みどころ 誕生者お祝い
- 3月 12日(水)クラブ協議会 次年度委員会組織表  
発表 第10回理事会

担当は 菅野良二 でした。